

教科	国語	履修学年	1年	指導時間	158時間	担当者	杉山 美恵			
使用教科書	新編 新しい国語1 (東京書籍) 新編 新しい書写 (東京書籍)		補助教材	ステップ別常用漢字 (浜島書店) 中学生の文法 (とうほう) 改訂版国語便覧 (浜島書店) 中学実力練成テキスト国語1年 (文理)			区分	必修		
教科の目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。									
評価規準	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能					
小説・詩	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品に描かれる人物像や人間関係、人物の心情を興味を持って読もうとしている。</li> <li>文学らしい表現に着目し、言葉を吟味しようとしている。</li> <li>作品におけるモチーフの扱われ方に着目し、場面を追ってそこから主題を把握し、それについて自分の考えをまとめようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の感じたことや考えたことを発表している。</li> <li>互いの考えを聞き合い、理解し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品に対する自分の思いや考えを、文章に書いている。</li> <li>作品の内容を、読んだことのない人に伝えるように紹介する文章に書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心情の読み取れる行動描写や心情を表す表現と関連づけ、会話に表れている人物の心情を理解しようとしている。</li> <li>表現に即して心情の変化を説明している。</li> <li>行動から人物像について考え、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文脈上の語句の意味を、正確に、的確に理解している。</li> <li>心情に沿った読み方を工夫している。</li> <li>情景描写、せりふ、心情の描写、思考の描写、語り手の説明などが書き分けられていることを理解している。</li> </ul>					
説明文・評論文	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章に表現されている説明や主張を、それを支える構成や展開を含めて的確に理解し、文章の要点をとらえようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の考えについて、根拠を示して自分の考えを話すことができる。</li> <li>他の人の意見を聞き、そこから新しい視点を見つけることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>段落の関係を踏まえて、分かりやすく要点をまとめて書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事実と筆者の考えを区別し、それぞれの要点とそれらの論理的な展開を理解している。</li> <li>筆者の思考の展開に即して、段落の要点となるキーワードを見つけることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門的な用語や独自の用語の意味を、文脈の中で正確に読みとっている。</li> <li>キーワードを取り出し、文脈の中での意味を正確に読みとっている。</li> </ul>					
古典	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典を読み、それを現代とかかわらせて考えようとしている。</li> <li>古典を、成立当時の社会や人々のものの見方や考え方の中において理解しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原文をいきいきと音読している。</li> <li>自分の予想や考えを発表している。</li> <li>他の人の発表を考えながら聞いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典作品と現代や自分とのかかわりについて、自分の考えを文章にまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原文と口語訳とを照らし合わせ、文章の意味が理解ができています。</li> <li>古文や漢文の話の展開を追い、内容を正確に読みとっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代仮名遣いと歴史的仮名遣いの違いに気づくことができる。</li> <li>歴史的仮名遣いを正しく音読できる。</li> <li>漢文の書き下し文の特色について、初歩的な知識を習得している。</li> </ul>					
文法	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉のきまりに気づき、知識を整理し、理解しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話すとき、聞くときに、文法に基づいて言葉を使用しているか、話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだ文法の知識を活用して、正確な文章を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の中の段落の役割、段落内の文と文との関係を、文法の知識をもとにして読みとっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の単位、文の構造、品詞、指示語について理解している。</li> </ul>					
漢字・書写	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の成り立ちに興味を持っている。</li> <li>漢和辞典を活用して調べようとしている。</li> <li>筆記用具、用紙の種類や大きさに合わせた文字を書こうとしている。</li> </ul>	/		<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校学年別漢字配当表に示された漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>字形を整え、文字の大きさ、配置に気を付けて書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校学年別漢字配当表に示された漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字から400字程度の漢字を読んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>六書、義符・声符、部首を理解している。</li> <li>漢字の書体の変遷、新字体・旧字体の関係を知り、旧字体の漢字を読みこなしている。</li> <li>毛筆、硬筆とも、漢字の楷書とそれに調和した仮名に注意して書くことができる。</li> </ul>				
主な評価資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み</li> <li>提出物</li> <li>小テスト</li> <li>音読・暗唱テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み</li> <li>発表活動</li> <li>提出物 (プリント)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み</li> <li>提出物 (ノート、プリント、書写の作品)</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み</li> <li>提出物 (ノート、プリント)</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物 (ノート、プリント、書写の作品)</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul>					
評価の割合	20%	20%	20%	20%	20%					
学級編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常の学級で一斉授業を基本とする。</li> <li>単元によっては、グループ活動、ペアワーク等を適宜取り入れる。</li> </ul>									
観点別の評価基準	<p>A 十分満足できると判断されるもの ……80%以上の達成</p> <p>B 概ね満足できると判断されるもの ……50%以上80%未満の達成</p> <p>C 努力を要すると判断されるもの ……50%未満の達成</p>									
評定基準5段階	<p>5 十分満足でき、特に程度の高いもの ……90%以上の達成</p> <p>4 十分満足できると判断される ……80%以上90%未満の達成</p> <p>3 概ね満足できると判断されるもの ……50%以上80%未満の達成</p> <p>2 努力を要すると判断されるもの ……20%以上50%未満の達成</p> <p>1 いっそう努力を要すると判断されるもの ……20%未満の達成</p>									

教科	社会	履修学年	1年	指導時間	123時間	担当者	箱崎純一・田村恵・福田修一
使用教科書	新編新しい社会地理（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院） 新しい日本の歴史（育鵬社）		補助教材	世界の諸地域NOW2020（帝国書院） 資料カラー歴史（浜島書店） 中学実力練成テキスト（地理・歴史）（文理）		区分	必修
教科の目標	社会的諸事象に対する関心を高め、諸資料にもとづいて多面的・多角的に考察し、日本や世界の地理的事象や歴史に対する理解を深める。						
評価規準	社会的事象への関心・意欲・態度		社会的な思考・判断		資料活用の技能・表現		社会的事象についての知識・理解
世界の地域構成	地球儀や地図に親しむとともに、世界のおおまかな地域構成の特色について、興味・関心をもってとらえている。		地球表面のようすを地球儀や地図などを活用してとらえるとともに、国土の位置と領域に関する特色を、世界的視野から多面的・多角的に追究している。		地球儀や地図の基本的な活用の仕方をも身につけるとともに、世界の地域構成をふまえて、おおまかに世界地図を描いている。		世界の地域区分の仕方を理解するとともに、世界の国々の名称・位置など、世界の地域構成に関する基本的な知識を身につけている。
世界各地の人々の生活と環境	世界各地の人々の生活や文化について、気候、食事、住居、宗教から意欲的に追究し、特色をとらえようとしている。		世界各地の人々の生活・文化に関する事象から課題を設定し、書籍等を活用しながら多面的・多角的に追究している。		世界各地の食事、住居、衣服、宗教について統計資料を読みとり学習に役立つ情報を適切に選択して活用している。		世界各地の人々の生活・文化について気候や宗教との関わりに着目して特色を理解し、その知識を身につけている。
世界の諸地域	世界の国々に対する関心を高め、その調査に意欲的に取り組み、世界の国々の地域的特色をとらえようとしている。		世界の国々の地理的事象から課題を見出し、それを環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に追究するとともに、国家規模の地域的特色をとらえる視点や方法を考察している。		世界の国々に関する地図や統計その他の資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、世界の国々の地域的特色を追究し考察した過程や結果をまとめたり、発表したりしている。		世界の国々の地域的特色とともに、国家規模の地域的特色をとらえる視点や方法などを理解し、それらの知識を身につけている。
世界の様々な地域の調査	世界の国々に関する地図や写真、統計その他の資料を用いた調査に意欲的に取り組んでいる。		世界の国々の地理的事象をもとにして適切な課題を設定している。		世界の国々の地域的特色を追究し考察した過程や結果を地図化したり報告書などにまとめたり、発表したりしている。		国家規模の地域的特色を地図や統計その他の資料を用いてとらえる視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解し、その知識を身につけている。
日本の地域構成	日本の国土に対する関心を高め、日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分を意欲的に追究し、日本の地域構成をとらえようとしている。		日本の地域構成を日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分をもとに多面的・多角的に考察している。		日本の地域構成をとらえるために地球儀や地図を活用するとともに、日本の地域構成を追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。		日本の地域構成を日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分をもとに理解し、その知識を身につけている。
世界と比べた日本の地域的特色	日本の国土の特色に対する関心を高め、それを世界的視野と日本全体の視野に立って様々な面から意欲的に追究し、我が国の国土の特色をとらえようとしている。		日本の国土の特色を世界的視野と日本全体の視野に立って様々な面から追究するとともに、地域間を比較し関連付けて地域的特色を明らかにする視点や方法を考察している。		世界や日本の地図や統計その他の資料を収集し、様々な面から日本の国土の特色をとらえるための情報を適切に選択して活用するとともに、我が国の国土の特色を追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。		世界的視野と日本全体の視野に立って様々な面からとらえた日本の国土の特色とともに、地域間を比較し関連付けて地域的特色を明らかにする視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。
日本の諸地域	日本の諸地域に対する関心を高め、その調査に意欲的に取り組み、各地方の地域的特色をとらえようとしている。		日本の諸地域の地理的事象から課題を見だし、それを環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に追究するとともに地域的特色をとらえる視点や方法を考察している。		日本の諸地域に関する地図や統計その他の資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、地域的特色を追究し考察した過程や結果をまとめたり、発表したりしている。		日本の諸地域の地域的特色をとらえる視点や方法などを理解し、それらの知識を身につけている。
歴史の流れ地域の歴史	我が国の歴史の流れに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。身近な地域の歴史に対する関心を高め、意欲的に調べようとしている。		我が国の歴史について、身近な地域から主題を設定し、地域変容から時代の大きな移り変わりを考察している。		身近な地域に関する史料や写真、歴史地図、文献、年表などの様々な資料を収集し活用して結果をまとめたり説明することができる。		地域変容に着目して時代の大きな移り変わりに気付いている。
主な評価資料	・提出物、ワークシート ・授業の様子、定期考査		・提出物 ・小テスト、課題、定期考査		・提出物、ワークシート ・小テスト、定期考査		・提出物、ワークシート ・小テスト、定期考査
評価の割合	25%		25%		25%		25%
学級編成	・クラス単位						
観点別の評価基準	A 十分満足できると判断されるもの B 概ね満足できると判断されるもの C 努力を要すると判断されるもの		・ ・ ・ 80%以上の達成 ・ ・ ・ 50%以上80%未満の達成 ・ ・ ・ 50%未満の達成				
評定基準5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの 4 十分満足できると判断される 3 概ね満足できると判断されるもの 2 努力を要すると判断されるもの 1 いっそう努力を要すると判断されるもの		・ ・ ・ 90%以上の達成 ・ ・ ・ 80%以上90%未満の達成 ・ ・ ・ 50%以上80%未満の達成 ・ ・ ・ 20%以上50%未満の達成 ・ ・ ・ 20%未満の達成				

令和2年度

評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科	数学	履修学年	1年	指導時間	158時間	担当者	浦澤、宮本英、粕谷
使用教科書	「中学数学1」 (教育出版)		補助教材	新課程「体系数学1(代数編・幾何編)」 (数研出版) 新課程「体系問題集 数学1 (代数編・幾何編)」 (数研出版)		区分	必修
教科の目標	数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。						
評価規準	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量・図形などについての知識・理解			
数と式	正負の数、文字を用いた式や方程式を用いて性質や関係を見だし、数学的活動の楽しさや数学的に考えることよさに関心を持ち、意欲的に問題解決に活用しようとする。	正負の数、文字を用いた式や方程式などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用し、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりすることができる。	正負の数、簡単な整式、単項式を用いた四則計算での表現とその意味のよみとり、方程式を解いたりすることができるとともに、それらの手順を説明することができる。	負の数の必要性、正の数と負の数の意味や四則計算、一次式や方程式、連立方程式及びその解の意味、等式の性質や文字を用いることの意味を理解している。			
図形	様々な事象を平面図形や空間図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。	平面図形や空間図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりすることができる。	基本的な作図をしたり、空間図形を見取図、展開図、投影図によって適切に表現したり、図形の計量をしたり、合同であること証明をすることができるなど、技能を身に付けている。	平面図形や空間図形についての性質や関係、基本的な作図の方法、平行移動や対称移動及び回転移動、空間における図形の位置関係、図形の計量の仕方、合同であることの証明のすすめ方などを理解している。			
関数	様々な事象を比例、反比例などの関数でとらえたり、表、式、グラフなどで表したりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。	比例、反比例についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりすることができる。	比例、反比例の関係を、表、式、グラフなどを用いて的確に表現したり、数学的に処理したりすることができる。	関数関係の意味、比例、反比例の意味、比例、反比例の関係を表す表、式、グラフの特徴、問題解決への利用の仕方を理解している。			
資料の活用	様々な事象についての資料を収集して整理したり、ヒストグラムや代表値などを用いてその傾向を読み取ったりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。	ヒストグラムや代表値についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりすることができる。	資料を表やグラフに整理したり、代表値を求めたりするなど、技能を身に付けている。	ヒストグラムや代表値の必要性和意味、相対度数の必要性和意味、誤差や近似値の意味などを理解している。			
主な評価資料	学習態度、提出物、小テスト	定期考査、小テスト	定期考査、小テスト	定期考査、小テスト			
評価の割合	25%	25%	25%	25%			
学級編成	標準・発展の2展開の習熟度別編成(定期考査每または学期毎にクラスの再編成)をする。						
観点別の評価基準	A 十分満足できると判断されるもの B 概ね満足できると判断されるもの C 努力を要すると判断されるもの		・・・80%以上の達成 ・・・50%以上80%未満の達成 ・・・50%未満の達成				
評定基準5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの 4 十分満足できると判断される 3 概ね満足できると判断されるもの 2 努力を要すると判断されるもの 1 いっそう努力を要すると判断されるもの		・・・90%以上の達成 ・・・80%以上90%未満の達成 ・・・50%以上80%未満の達成 ・・・20%以上50%未満の達成 ・・・20%未満の達成				

令和2年度

評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科	理科	履修学年	1年	指導時間	140時間	担当者	吉田高志・永井 伎	
使用教科書	新版 理科の世界1 (大日本図書)		補助教材	グラフィックサイエンス最新理科資料集(明治図書) 中学の物理・化学・生物・地学(教育開発出版) 系統的に学ぶ中学物理・化学・生物・地学(文理)		区分	必修	
教科の目標	・自然に対する関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。							
評価規準	関心・意欲・態度		科学的な思考・表現		観察・実験の技能		知識・理解	
植物の生活と種類	生物の観察や植物の体のつくりと働き、植物の仲間に関する事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、生命を尊重し自然環境を保全しようとする。		生物の観察や植物の体のつくりと働き、植物の仲間に関する事物・現象の中に問題を見出し、解決方法を考え、観察、実験を行い、事象の生じる要因や仕組みを分析的、総合的に考察し、問題を解決する。		生物の観察や植物の体のつくりと働き、植物の仲間に関する事物・現象についての観察、実験を行い、観察・実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画、実施、結果の記録・考察など探究する過程を通して、規則性を見出したり、自らの考えを導きだしたりして創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う技能を身につける。		生物の観察や植物の体のつくりと働き、植物の仲間に関する事物・現象について理解し、知識を身につけている。	
光・音・力による現象	光と音及び力の性質に関する事物・現象に関心をもち、意欲的に観察、実験を行ったり、それらの事象を日常生活と関連づけて考察したりしようとする。		光と音及び力の性質に関する事物・現象を調べる方法を考え、観察、実験などを行ったり、規則性を見出したりして問題を解決する。		光と音及び力の性質に関する事物・現象を調べる観察、実験を行い、観察、実験の基本操作や記録の仕方を身につけるとともに自らの考えを導き出し創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う技能を身につける。		観察や実験などを通して、光と音の予備力の性質に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	
身の回りの物質	身の回りの物質の性質や水溶液に関する事物・現象に関心をもち、意欲的に観察、実験を行ったり、それらの事象を日常生活と関連づけて考察したりしようとする。		身に周りの物質の性質や水溶液に関する事物・現象に問題を見出し、解決方法を考えるなどして、観察、実験を行ったり、事象の生じる要因や仕組みを科学的に考察したりして問題を解決する。		身の回りの物質の性質や水溶液に関する事物・現象について観察、実験を行い、観察・実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、自らの考えを導き出し創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う技能を身につける。		身の回りの物質の性質や水溶液に関する事物・現象について理解し、知識を身につけている。	
大地の成り立ちと変化	地層と過去の様子、火山と地震に関する事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、自然環境を保全しようとする。		地層と過去の様子、火山と地震に関する事物・現象の中に問題を見出し、解決方法を考え、観察・実験や調査を行い、事象の生じる要因や仕組みを時間、空間と関連付けて動的に見たりして問題を解決する。		地層と過去の様子、火山と地震に関する事物・現象について観察・実験や調査を行い、観察・実験の基本操作を習得するとともに、観察・実験や調査の計画、実施、結果の記録・考察など探究する過程を通して規則性を見出したり、自らの考えを導き出したりして創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う技能を身につける。		地層と過去の様子、火山と地震に関する事物・現象について理解し、知識を身につけている。	
主な評価資料	・提出物、プリント、ノート ・学習に取り組む様子		・提出物 ・小テスト、課題、定期考査		・提出物、レポート、プリント ・パフォーマンステスト ・定期考査や小テスト		・定期考査や小テスト ・学習の様子	
評価の割合	25%		25%		25%		25%	
学級編成	通常のクラスで授業を行うが、観察や実験、授業内容によって、実験室（物理、化学、生物、地学）で、実験班に編成し、共同作業を行う場合がある。							
観点別の評価基準	A 十分満足できると判断されるもの・・・80%以上の達成 B 概ね満足できると判断されるもの・・・50%以上80%未満の達成 C 努力を要すると判断されるもの・・・50%未満の達成							
評定基準5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの・・・90%以上の達成 4 十分満足できると判断される・・・80%以上90%未満の達成 3 概ね満足できると判断されるもの・・・50%以上80%未満の達成 2 努力を要すると判断されるもの・・・20%以上50%未満の達成 1 いっそう努力を要すると判断されるもの・・・20%未満の達成							

教科	音楽	履修学年	第1学年	指導時間	45時間	担当者	橋場 友彦
使用教科書	中学生の音楽1 (教育芸術社)		補助教材	中学生の器楽(器楽版) クラス合唱用MY SONG (教育芸術社)		区分	必修
教科の目標	・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養う。						
評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力			
歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の意味、背景にある情景や心情、歌詞の構成に関心をもち、自己のイメージを膨らませて歌唱表現することに意欲的である。</li> <li>曲の持っているよさや特徴に関心をもち、自己のイメージを広げて歌唱表現することに意欲的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の意味、背景にある情景や心情、歌詞の構成を感じ取り、自己のイメージや感情を膨らませて歌唱表現を工夫している。</li> <li>曲のもっているよさや特徴を感じ取り、自己のイメージを広げて歌唱表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の意味、背景にある情景や心情、歌詞の構成に気をつけ、自己のイメージや感情を膨らませて歌唱表現をする技能を身につけている。</li> <li>曲の持っているよさや特徴に気をつけ、自己のイメージを広げて歌唱表現する技能を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きによって生み出される曲想の変化に関心をもち、意欲的に聴いている。</li> <li>楽曲構成の豊かさや表現の多様さと楽曲全体の味わいに関心をもっている。</li> </ul>			
器楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽器の基本的な操作方法や初歩的な演奏方法に関心をもち、器楽表現することに意欲的である。</li> <li>楽器の音の特性に関心をもち、美しく豊かな表情の音で器楽表現をすることに意欲的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽器の基本的な操作方法に気づき、初歩的な演奏方法を感じ取って器楽表現を工夫している。</li> <li>楽器の特性を知覚し、美しく豊かな表情の音を感じ取って器楽表現を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽器の基本的な操作方法や初歩的な演奏方法に気をつけて器楽表現をする技能を身につけている。</li> <li>楽器の音の特性を生かし、美しく豊かな表情の音に気をつけて器楽表現をする技能を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の諸要素の働きをイメージと関わらせて創作表現をする技能を身につけている。</li> <li>音階や旋律の動きやフレージングなどが生み出す表現効果に気をつけて創作表現をする技能を身につけている。</li> </ul>			
創作	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の諸要素の働きをイメージと関わらせて創作表現をすることに意欲的である。</li> <li>音階や旋律の動きやフレージングなどが生み出す表現効果に関心をもっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の諸要素の働きをイメージと関わらせて感じ取り、創作表現を工夫している。</li> <li>音階や旋律の動きやフレージングなどが生み出す表現効果を感じ取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の諸要素の働きをイメージと関わらせて創作表現をする技能を身につけている。</li> <li>音階や旋律の動きやフレージングなどが生み出す表現効果に気をつけて創作表現をする技能を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の諸要素の働きをイメージと関わらせて創作表現をする技能を身につけている。</li> <li>音階や旋律の動きやフレージングなどが生み出す表現効果に気をつけて創作表現をする技能を身につけている。</li> </ul>			
主な評価資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>実技テスト</li> <li>提出物</li> <li>授業での取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>実技テスト</li> <li>提出物</li> <li>授業での取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>実技テスト</li> <li>授業での取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>提出物</li> <li>授業での取り組み</li> </ul>			
評価の割合	25%		25%		25%		25%
学級編成	通常のクラスで授業を行うが、合唱練習や楽器演奏など授業内容によってグループ編成を行い、共同練習を行う場合がある。						
観点別の評価基準	A 十分満足できると判断されるもの		B 概ね満足できると判断されるもの		C 努力を要すると判断されるもの		
評定基準5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの		4 十分満足できると判断される		3 概ね満足できると判断されるもの		
	2 努力を要すると判断されるもの		1 いっそう努力を要すると判断されるもの				

教科	美術	履修学年	1年	指導時間	45時間	担当者	廣瀬 直彦
使用教科書	新美術（光村）		補助教材	新美術 表現と鑑賞 （開隆堂）		区分	必修
教科の目標	(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 (2) 対象を深く観察する力、感性や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的技能を身に付け、多様な表現方法や造形要素に関心をもち、創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 (3) 自然や美術作品などについての基礎的理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じ取る鑑賞の能力を育てる。						
評価規準	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力			
校内スケッチ	① 身の回りにあるいつも見慣れたものや、普段なげなく見ているものに、形や色の面白さや特徴があることに気づき、注意深く見つめるようとする。 ② なげなく見ていた対象に、あらためて新鮮な印象をもち、主体的に表現することで新たに発見する喜びを味わおうとする。	① 普段見慣れている身近なものから、形の特徴をよく観察してその美しさを感じとり、画面に効果的に取り入れることができる。 ② 対象の形の美しさからさまざまなに構想し、豊かに画面を構成することができる。 ③ 対象から感じ取った明暗の美しい調子を、鉛筆の色味を生かしながら、自分らしい色調で表すことができる。	① 対象をよく観察し、形の特徴をとらえて、自分なりの方法でスケッチをすることができる。 ② 対象の細部にとらわれず、技法を工夫して、材質感や立体感を表すことができる。	課題導入時や特別時間割などを利用して、画像・映像・美術史・友人の作品・画集などを鑑賞し、その感想を提出させる。			
着彩色構成	① 色を科学的に理解し、絵の具と光の三原色の違いや、色の三属性や対比、進出色、後退色、寒色、暖色など、色のさまざまな性質に興味を持つ。 ② 色の感情・対比を効果的に使った色彩構成の作品を意欲的に制作する。 ③ 偶然出来た形より、自分が美しいと感じる形を探し出す。	① 色の性質や混色・配色など、学んだことを意図に合う表現方法で制作する。 ② 自分が探し出した美しい形を生かす配色を考える。 ③ 色の性質を効果的に使った色彩構成を発想することができたか。	① 構想を基に、意図した色の絵の具によって、各色面を塗ることができたか。 ② 全体や部分の关系到気配りを配り、色の対比や組み合わせによる効果を最大限に生かした作品ができたか。				
ステンドグラス	① 透明感に合ったデザインを選び、積極的に造形活動を行う。 ② 試行錯誤をし、自分なりのデザインや造形活動に積極的に試みる。	① 透明感を使った光表現を理解し、制作を行う。 ② スケッチしながらデザイン構成を形にする。	① 構想を基に、形や色彩を作品に生かして制作できる。 ② 光の特性を理解し、効果的に作品に生かして制作できる。				
銅版レリーフ	① 制作することに興味をもち、美しさを味わう。 ② 彫金の基礎を学び、楽しく創造活動に取り組む。	① 自然物の形や色彩などから、自由に発想する。 ② 制作を行いながら、金属の質感に触れ、素材の特質を体で感じる。	① 材料や用具の生かし方を考え、工夫してあらわす。 ② 形や道具を工夫して制作できたか。				
主な評価資料	・作品 ・制作過程の様子 ・授業に取り組む態度		・作品 ・制作過程の様子		・作品 ・制作過程の様子		・感想文、レポート
評価の割合	25%		25%		25%		25%
学級編成	通常のクラス編成で授業を行う。						
観点別の評価基準	A 十分満足できると判断されるもの B 概ね満足できると判断されるもの C 努力を要すると判断されるもの			…80%以上の達成 …50%以上80%未満の達成 …50%未満の達成			
評定基準5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの 4 十分満足できると判断される 3 概ね満足できると判断されるもの 2 努力を要すると判断されるもの 1 いっそう努力を要すると判断されるもの			…90%以上の達成 …80%以上90%未満の達成 …50%以上80%未満の達成 …20%以上50%未満の達成 …20%未満の達成			

教科	技術・家庭 技術分野	履修学年	1年	指導時間	35時間	担当者	上野 学
使用教科書	新編新しい 技術・家庭 技術分野	補助教材	中学校技家ノート 最新技術家庭科資料集 技術分野 技術とものづくり プリント資料 手先訓練じく			区分	必修
教科の目標	* 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。						
評価規準	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能		生活や技術について の知識・理解		
A 材料と加工に関する技術 (1) 生活や産業の中で利用されている技術	・技術が環境問題の原因と解決に深くかかわっていることに気づき、技術の進展と環境との関係について関心を示している。						
A 材料と加工に関する技術 (2) 材料と加工法	・材料と加工に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。	・材料と加工に関する技術の課題を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。	・切断、切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。		・木材、金属及びプラスチックなどの特徴と使用方法についての知識を身に付けている。 ・材料に適した切断、切削などの方法についての知識を身に付けている。		
A 材料と加工に関する技術 (3) 材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作	・省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから材料、使いやすさ及び丈夫さなどを比較検討した上で、製作品やその構成部品の適切な形状と寸法などを決定している	・製作品の構想を等角図、キャビネット図等できき表すことができる。 ・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立て・接合、仕上げができる。		・製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図等の見方やかき方についての知識を身に付けている。		
主な評価資料	・提出物・出席点 ・学習に取り組む様子 ・定期考査	・提出物 ・学習に取り組む様子 ・定期考査 ・作品	・提出物 ・学習に取り組む様子 ・定期考査・実技考査点 ・作品		・提出物 ・学習に取り組む様子 ・定期考査		
評価の割合	25%	25%	25%		25%		
学級編成	クラス単位						
観点別の評価基準	A 十分満足できると判断されるもの B 概ね満足できると判断されるもの C 努力を要すると判断されるもの		・・・80%以上の達成 ・・・50%以上80%未満の達成 ・・・50%未満の達成				
評定基準 5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの ……90%以上の達成 4 十分満足できると判断される ……80%以上90%未満の達成 3 概ね満足できると判断されるもの ……50%以上80%未満の達成 2 努力を要すると判断されるもの ……20%以上50%未満の達成 1 いっそう努力を要すると判断されるもの ……20%未満の達成						

教科	技術・家庭 家庭分野	履修学年	1年	指導時間	35時間	担当者	田川																				
使用教科書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 東京書籍	補助教材	新編 新しい技術・家庭学習ノート 家庭分野 東京書籍 最新技術家庭科資料集 明治書院	区分	必修																						
教科の目標	生活の自立に必要な基礎的な知識と技術を習得するとともに、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と実践的な態度を育てる。																										
評価規準	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術について の知識・理解																							
食生活と栄養	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の役割や健康とのかかわりについて関心をもっている。</li> <li>・食品に含まれる栄養素について、関心をもって学習活動に取り組んでいる。</li> <li>・中学生の時期の栄養の特徴について関心をもち、自分の食事とかかわらせて考えようとしている。</li> <li>・食品の栄養的特質について関心をもち、献立を検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事点検などから課題を見付け、その解決を目指して食事の取り方などについて考え、工夫している。</li> <li>・中学生に必要な栄養量を満たす一日分の献立を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の食事を点検することができる</li> <li>・栄養素の種類と働きや食品の栄養的特質について、調べたりまとめたりすることができる。</li> <li>・食品群別摂取量の目安を用いて中学生の1日分の献立を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の食事を点検することができる。</li> <li>・栄養素の種類と働きや食品の栄養的特質について、調べたりまとめたりすることができる。</li> <li>・食品群別摂取量の目安を用いて中学生の1日分の献立を考えることができる。</li> </ul>																							
献立作りと食品の選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な食品に関心をもち、用途に応じて適切に選択しようとしている。</li> <li>・日常食の調理に関心をもち、調理技術を習得しようとしている。</li> <li>・食生活の安全と衛生に関心をもち、調理実習で実践しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の選択と簡単な日常食の調理を工夫している。</li> <li>・材料の扱い</li> <li>・切り方</li> <li>・調味</li> <li>・盛りつけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な食品の品質について調べ、用途に応じて適切に選択できる。</li> <li>・目的、栄養、価格</li> <li>・調理の能率</li> <li>・環境への影響など</li> <li>・安全と衛生や作業の能率に留意して調理ができる。</li> <li>・洗う、切る、加熱する、調味するなどの基本的な調理操作ができる。</li> <li>・食品や調理器具を適切に取り扱うことができる。</li> <li>・食品の保存</li> <li>・ふきん、まな板、包丁などの調理用具の扱い</li> <li>・調理用熱源</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な食品の品質を見分ける観点について理解している。</li> <li>・加工食品の表示の意味を読みとることができる。</li> <li>・食品の調理上の性質について理解している。</li> <li>・加熱調理と調味の要点について理解している。</li> <li>・食品や調理器具の安全と衛生に留意した取扱い方を理解している。</li> </ul>																							
調理と食文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の食生活を振り返り、課題を見付けようとしている。</li> <li>・日常食や地域の食材を生かした調理の計画や実習に関心をもち、学んだ知識と技術を活用しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常食や地域の食材を生かした調理について課題をもち、自分なりの工夫をしたり、新たな方法を考えたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常食や地域の食材を生かした調理ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理の基礎で取り上げなかった食品を用いた日常食や地域の食材を生かした調理に関する基礎的な知識を身に付けている。</li> <li>・地域の食材について理解している。</li> <li>・会食のマナーについて理解している。</li> </ul>																							
主な評価資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・学習に取り組む様子</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・学習に取り組む様子</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・学習に取り組む様子</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・学習に取り組む様子</li> <li>・定期考査</li> </ul>																							
評価の割合	25%	25%	25%	25%																							
学級編成	クラス単位																										
観点別の評価基準	<table border="0"> <tr> <td>A</td> <td>十分満足できると判断されるもの</td> <td>・・・</td> <td>80%以上の達成</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>概ね満足できると判断されるもの</td> <td>・・・</td> <td>50%以上80%未満の達成</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>努力を要すると判断されるもの</td> <td>・・・</td> <td>50%未満の達成</td> </tr> </table>							A	十分満足できると判断されるもの	・・・	80%以上の達成	B	概ね満足できると判断されるもの	・・・	50%以上80%未満の達成	C	努力を要すると判断されるもの	・・・	50%未満の達成								
A	十分満足できると判断されるもの	・・・	80%以上の達成																								
B	概ね満足できると判断されるもの	・・・	50%以上80%未満の達成																								
C	努力を要すると判断されるもの	・・・	50%未満の達成																								
評定基準5段階	<table border="0"> <tr> <td>5</td> <td>十分満足でき、特に程度の高いもの</td> <td>・・・</td> <td>90%以上の達成</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>十分満足できると判断される</td> <td>・・・</td> <td>80%以上90%未満の達成</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>概ね満足できると判断されるもの</td> <td>・・・</td> <td>50%以上80%未満の達成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>努力を要すると判断されるもの</td> <td>・・・</td> <td>20%以上50%未満の達成</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>いっそう努力を要すると判断されるもの</td> <td>・・・</td> <td>20%未満の達成</td> </tr> </table>							5	十分満足でき、特に程度の高いもの	・・・	90%以上の達成	4	十分満足できると判断される	・・・	80%以上90%未満の達成	3	概ね満足できると判断されるもの	・・・	50%以上80%未満の達成	2	努力を要すると判断されるもの	・・・	20%以上50%未満の達成	1	いっそう努力を要すると判断されるもの	・・・	20%未満の達成
5	十分満足でき、特に程度の高いもの	・・・	90%以上の達成																								
4	十分満足できると判断される	・・・	80%以上90%未満の達成																								
3	概ね満足できると判断されるもの	・・・	50%以上80%未満の達成																								
2	努力を要すると判断されるもの	・・・	20%以上50%未満の達成																								
1	いっそう努力を要すると判断されるもの	・・・	20%未満の達成																								



教科	保健体育	履修学年	第1学年	指導時間	105時間	担当者	綿引良宏・今井美里・田島直樹・鈴木朋子
使用教科書	中学校保健体育		補助教材	2020 中学体育実技		区分	必修
教科の目標	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。						
評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解			
体づくり	体づくり運動に対する関心や意欲をもって互いに協力して運動をしようとする。また、健康や安全に留意して運動をしようとする。	自分の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を工夫している。	自分の体力や生活に応じて、体力を合理的に高めるための運動ができる。	体づくり運動の必要性や運動の行い方、心身への効果を理解するとともに、課題に応じた体づくり運動の構成の仕方を理解し、知識を身に付けている。			
器械運動 マット	器械運動の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また、互いに協力して練習しようとするとともに、器械・器具を点検し、安全に留意して練習をしようとする。	自分の能力に適した技を習得するための練習の仕方を工夫している。	器械運動の特性に応じた技能を身に付けるとともに、その技能を高めて運動することができる。	器械運動の特性や学び方、技術の構造を理解するとともに、練習の仕方や技のきばえの確かめ方を理解し、知識を身に付けている。			
陸上競技 走り幅跳び ハードル 持久走	陸上競技の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また、互いに協力して練習や競技をしようとし、勝敗に対して公正な態度をとろうとするとともに、練習場の安全や体の調子など、健康・安全に留意して練習や競技をしようとする。	自分の能力に適した課題をもち、その解決を目指して、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	幅跳び・ハードル・持久走の、それぞれの特性に応じた技能を身に付けるとともに、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の選択した種目の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方などを理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身に付けている。			
ダンス	ダンスの特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また、互いのよさを認め合い、協力して練習したり発表したりしようとする。	グループの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫している。	ソーラン節を、正しく力強く踊ることができる。グループで意見を出し合い、フォーメーションや最後のポーズ等を工夫し、発表することができる。	ダンスの特性や学び方、歴史を理解するとともに、発表の仕方や鑑賞の仕方を理解し、知識を身に付けている。			
水泳	水泳の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また、互いに協力して練習ができるようにするとともに、水泳の事故防止に関する心得を守り、健康・安全に留意して練習をしようとする。	自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方を工夫している。	平泳ぎ・クロールの基本的な技能を身に付けるとともに、その技能を高め、続けて長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。	水泳の特性や学び方、各泳法の技術の構造、合理的な練習の仕方などを理解するとともに、競技や審判の方法を理解している。また、水泳の事故防止の心得を実践的行動に結びつけて理解し、知識を身に付けている。			
球技 バスケットボール・バレーボール・サッカー・ハンドボール・ソフトボール	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。また、チームにおける自分の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをしようとするとともに、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。さらに、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫している。	ゴール型・ベースボール型の球技種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。体力測定での投力の向上ができる。	球技種目の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身に付けている。			

体育に関する知識	運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について関心を持ち、運動の実践や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとする。	運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について、運動の実践や生活と結びつけて考え、工夫している。		運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について理解するとともに、運動の生活の中での生かし方や、運動の心身にわたる効果を理解し、知識を身に付けている。
保健 「心身の機能の発達と心の健康」	年齢に伴う身体機能の発達や心身の調和と心の健康などについて関心を持ち、仲間と協力して資料を集めたり、意見を交換したりしながら課題をみつけ、意欲的に学習しようとしている。	年齢に伴う身体機能の発達や心身の調和などについて、自分の知識や経験を、資料、仲間の意見や考えなどを元に、課題の設定や解決の方法を考え、判断できる。		心身の機能は生活経験などの影響を受けながら発達すること、身体と精神は互いに密接な関係にあることを科学的に理解し、日常生活の課題解決に役立つ知識を身に付けている。
主な評価資料	相互評価などの活動の観察およびワークシート・授業への出席および参加状況	グループ活動の観察およびワークシート	動きの観察と実技テスト	審判などによる理解度の把握およびワークシート・定期考査
評価の割合	25%	25%	25%	25%
学級編成	保健及び体育に関しては、各学年の男女を各2グループに分け、4展開での授業を行なう。体育の種目によっては、2グループが体育、2グループが保健の展開がある。			
観点別の評価基準	A 十分満足できると判断されるもの ……80%以上の達成 B 概ね満足できると判断されるもの ……50%以上80%未満の達成 C 努力を要すると判断されるもの ……50%未満の達成			
評定基準 5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの ……90%以上の達成 4 十分満足できると判断される ……80%以上90%未満の達成 3 概ね満足できると判断されるもの ……50%以上80%未満の達成 2 努力を要すると判断されるもの ……20%以上50%未満の達成 1 いっそう努力を要すると判断されるもの ……20%未満の達成			

教科	英語	履修学年	1年	指導時間	154時間	担当者	堀・宮本司																
使用教科書	学校図書 TOTAL ENGLISH 1		補助教材	Z会出版 NEW TREASURE English Series SECOND EDITION Stage 1 教育開発出版 ENGLISH SEARCH 1・週末ワーク エースクラウン英和辞典 第3版・新中学リスニング問題集		区分	必修																
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。																						
評価規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度		外国語表現の能力		外国語理解の能力		言語や文化についての知識・理解																
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>「聞くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>相手の言っていることを聞き取って、コミュニケーションを続けようとしている。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>現在形（前期）、現在進行形・過去形・疑問詞（後期）等を含む英語の情報を正しく聞き取ることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在形（前期）、現在進行形・過去形・疑問詞（後期）等の運用について基本的な知識を身に付けている。</li> <li>授業において取り扱われた文化について理解している。</li> </ul>																
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>言い直したり、言い換えたり、ジェスチャーを交えたりして、話すことによるコミュニケーションを続けようとしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在形（前期）、現在進行形・過去形・疑問詞（後期）等を用いて、自分の考えや気持ちなどを正しく話すことができる。</li> <li>初歩的な英語ながら、場面や相手の話しかけに応じて適切に話すことができる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>現在形（前期）、現在進行形・過去形・疑問詞（後期）等の運用について基本的な知識を身に付けている。</li> <li>授業において取り扱われた文化について理解している。</li> </ul>																
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>文字情報を読み取って、コミュニケーションを続けようとしている。</li> <li>授業において取り扱われる言語情報・文化について、自ら辞書を引く等、探究的な取り組みをしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在形（前期）、現在進行形・過去形・疑問詞（後期）等を含む英語を正しく音読することができる。</li> <li>正しく音読して、聞いている人に内容を適切に伝えることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在形、現在進行形、過去形、疑問詞等を含む英語の情報を正しく読み取ることができる。</li> <li>初歩的な英語を、目的に応じて精読して正確に内容を読み取ったり、速読して概要を把握することができる。</li> <li>初歩的な英語を多読することにより、直読直解的に内容を理解する能力を身に付けている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在形（前期）、現在進行形・過去形・疑問詞（後期）等の運用について基本的な知識を身に付けている。</li> <li>授業において取り扱われた文化について理解している。</li> </ul>																
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在形（前期）、現在進行形・過去形・疑問詞その他（後期）を含む英語を用いて、自分の考えや気持ちなどを正しく書き表すことができる。</li> <li>初歩的な英語ながら、目的に応じて適切に書くことができる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。</li> <li>授業において取り扱われた文化について理解している。</li> </ul>																
主な評価資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物（ワークブック、ノート）</li> <li>学習に取り組む様子</li> <li>定期考査、小テスト</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物（ワークブック、ノート）</li> <li>学習に取り組む様子</li> <li>定期考査、小テスト</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物（ワークブック、ノート）</li> <li>学習に取り組む様子</li> <li>定期考査、小テスト</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物（ワークブック、ノート）</li> <li>学習に取り組む様子</li> <li>定期考査、小テスト</li> </ul>																
評価の割合	25%		25%		25%		25%																
学級編成	通常は1クラスを習熟度に応じて2展開して少人数で行う。授業内容によって、外国人指導員とのTeam Teaching (TT) を行ったり、1クラスを日本人教員2名でTTを行う場合がある。																						
観点別の評価基準	<table border="0"> <tr> <td>A</td> <td>十分満足できると判断されるもの</td> <td>・・・80%以上の達成</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>概ね満足できると判断されるもの</td> <td>・・・50%以上80%未満の達成</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>努力を要すると判断されるもの</td> <td>・・・50%未満の達成</td> </tr> </table>								A	十分満足できると判断されるもの	・・・80%以上の達成	B	概ね満足できると判断されるもの	・・・50%以上80%未満の達成	C	努力を要すると判断されるもの	・・・50%未満の達成						
A	十分満足できると判断されるもの	・・・80%以上の達成																					
B	概ね満足できると判断されるもの	・・・50%以上80%未満の達成																					
C	努力を要すると判断されるもの	・・・50%未満の達成																					
評定基準5段階	<table border="0"> <tr> <td>5</td> <td>十分満足でき、特に程度の高いもの</td> <td>・・・90%以上の達成</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>十分満足できると判断される</td> <td>・・・80%以上90%未満の達成</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>概ね満足できると判断されるもの</td> <td>・・・50%以上80%未満の達成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>努力を要すると判断されるもの</td> <td>・・・20%以上50%未満の達成</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>いっそう努力を要すると判断されるもの</td> <td>・・・20%未満の達成</td> </tr> </table>								5	十分満足でき、特に程度の高いもの	・・・90%以上の達成	4	十分満足できると判断される	・・・80%以上90%未満の達成	3	概ね満足できると判断されるもの	・・・50%以上80%未満の達成	2	努力を要すると判断されるもの	・・・20%以上50%未満の達成	1	いっそう努力を要すると判断されるもの	・・・20%未満の達成
5	十分満足でき、特に程度の高いもの	・・・90%以上の達成																					
4	十分満足できると判断される	・・・80%以上90%未満の達成																					
3	概ね満足できると判断されるもの	・・・50%以上80%未満の達成																					
2	努力を要すると判断されるもの	・・・20%以上50%未満の達成																					
1	いっそう努力を要すると判断されるもの	・・・20%未満の達成																					